

地元と他地域のコンテンツを組み合わせたイベントを開催 島から世界へつながるきっかけが生まれる空間

築110年の空き家を改装した「せとうちつなぐキッチン 郷の家」を地域の魅力発信基地として活用。自粛ムードだからこそ地元資源に着目し、約2か月間に4つのイベントを実施。“島から世界へつながるきっかけが生まれる空間の創造”というコンセプトに基づき、異業種、他地域と連携したワークショップ、食事を提供。同施設の活用方法もPRした。

■施設概要

住所／山口県大島郡周防大島町
日前829
電話／090-1355-1749
<https://tsunagu-kitchen.shopinfo.jp>



事業内容

地元アーティストや茶人、他地域からのゲストで新たなつながりづくり



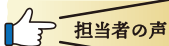
上映は地元団体、板書はアーティストに 連携を意識してイベントを展開

環境問題を取りあげた映画の上映会と意見交換会、ごみ拾いを実施。上映は同施設のコンセプトを知る任意団体に依頼。そのほか世界の音楽と台湾の食を楽しむ会、地元食材を使った寿司と国産ワインの食事会、スパイス会社と地元の事業者とのスパイス開発と料理教室を実施。子供の参加を促すため高校生以下は無料に。

意見交換会では、アーティストによる板書で意見を視覚化。参加者の満足度を上げた。



上映会後は海辺でごみ拾い。体験を通して環境問題を考えた。



担当者の声

島全体で取り組むイベントで、島の新しい魅力に

せとうちつなぐキッチン 郷の家 白鳥 法子さん

気になっていた地元の海のプラスチックごみ問題を取り上げ、ごみ拾いと映画鑑賞や食事など楽しいことと組み合わせたイベントとしました。「楽しそう」と思って参加すると、気付いたら海辺のごみを拾っていた、という状況が理想です。大島にかかわる人を増やし、島全体で取り組む動きで新しい魅力につなげていきたいです。島にいながら世界とのつながりを実感し、広い視野でものを考えられる場所となることを目指します。

事業効果

- 上映会には子供6人を含む18人が参加。
- 参加者同士の交流が生まれた。
- 普段の営業では来ることのない客層を集客できた。
- 同施設の多様な活用法をPRできた。

今後の展開

ゲストによる外からの視点で島の魅力を発見

島を別の視点で見ると見るような機会をつくっていく。イベントを通して、島の人の気づきを増やし、大島の新たな魅力を発見して発信していきたい。



平日宿泊プランやイベント実施で新たなニーズを発見 地元住民への認知とサービス向上で宴会予約を獲得

宴会場を活用し、食事を提供する平日宿泊プラン、パソコン勉強会、ディナーショーの3つのプラン・イベントを企画・実施した。このような取り組みは同館では初めて。平日の宿泊利用を促し営業収入の増加、地元住民へのサービス向上や地元住民に宴会場を知ってもらい、新たな利用へとつなげていく。

■施設概要

住所／山口県岩国市錦町
宇佐郷1075
電話／0827-74-5100
<https://www.go-rakan.com/fukatani>



事業内容

平日利用を促すプラン、地元住民を意識したイベントに反響



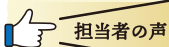
人気プランの平日価格を設定、 地元向けイベントは参加無料に

例年土曜日宿泊は満室となる人気プラン「ホテル見学会」を平日も設定。2食(夕食は宴会場)温泉付きで1名10,000円(税込み)。「パソコン勉強会」は参加費無料。地元商工会を中心に直接連絡して集客した。食事と歌手の榎本まさひろ氏による「お疲れさまディナーショー」を参加無料で実施。感染予防対策で先着20名に制限した。

ホテル見学会は6日間がほぼ満室。ディナーショー参加者の8割は錦町住民だった。



パソコン勉強会はパソコンも用意。テキストを配り勉強会後も学び続けられるようにした。



担当者の声

お客様を待つだけでなく、企画して集客する方法へ

有限会社らんかん高原 深谷峡温泉 清流の郷 支配人 岩男 命万さん

例年土曜日の宿泊は満室となるホテル見学会の平日宿泊プラン、パソコン勉強会やディナーショーなど初めての取り組みでお客様のニーズを知ることができました。歌謡ショーを宴会場で、食事をレストランで提供したのですが、音の反響を考えるとショーを広さのあるレストランですべきだったといった気づきもありました。お客様からのご予約を待つスタンスから、当館が企画して集客するという方法を今後も進めていきます。

事業効果

- ホテル見学会の平日プランに、予想以上の反響があった。
- 学ぶきっかけを提供できた。
- 宴会場など施設を知ってもらい、地元の方に喜んでいただけた。

今後の展開

平日利用やイベント継続、 地元の宴会利用目指す

ホテル観賞や食事に一定の利用客が見込めるため、継続して平日プランを企画。そのほかイベントも行い、地元の方の宴会利用につなげる。

島民対象に芸能イベントを実施、目標は健康寿命日本一 継続的な開催で島の魅力をアピール、関係人口を増やす

防府市の離島・野島で一棟貸の簡易宿所「ViDeN」を運営。3回目のワクチン接種が済んでいても外出を控えがちな島に住む高齢者を少しでも元気づけようと映画上映会と落語会を実施した。芸能を堪能することで心を豊かにしてもらい、健康寿命日本一の島を目指す。また、野島の魅力発信にもつなげていく。

■施設概要

住所／山口県防府市野島226
電話／0835-22-3205



https://peraichi.com/landing_pages/view/viden0202/

事業内容

日ごろは体験できない芸能を堪能し、心を豊かに



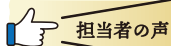
高齢者の若かりし頃のヒット作品を上映 思い出話で盛り上がり交流が活発に

高齢者が出かけたくなる催し物として、映画と落語を堪能できるイベントを4日間連続で実施。上映作品は、高齢者の若かりし頃にヒットした4作品「君の名は」「青い山脈」「嵐を呼ぶ男」「たそがれ清兵衛」。最終日は、防府市出身の鈴々舎馬るこ氏の落語会を行った。司会進行は地元FMパーソナリティーに発注した。

入口での消毒・検温、室内には空気清浄機を設置し、窓を開けて換気を行った。



100インチのスクリーンで上映。定員は1回10名とし、和室2間に間隔を開けて椅子を配置。



担当者の声

野島でのプレミアムな時間や空間を島内外にアピール

村田株式会社 ViDeN 代表取締役 **村田 真美**さん

野島にある宿泊施設は当施設だけ、天候が崩れると島から出ることもできません。何もできないのではなく、何もしない贅沢な時間を過ごせる島ともいえます。野島でのプレミアムな時間や空間をアピールし、持続可能な社会の構築に貢献できたら幸いです。インバウンドにも響くようにSNSではタグに韓国語を加えました。このような取り組みを通して、島民の皆さまと一緒に健康寿命日本一の島を目指していきたいと考えています。

事業効果

- 島民同士の交流を生み出した。
- 同館へのリクエストを直接聞けた。
- 徹底した感染対策を知ってもらい、安心して出かけられることを実感してもらえた。

今後の展開

島民に要望を聞き取り 事業者と連携したイベントも

事業の感想やリクエストを島民から聞き取り、継続的な開催を目指す。野島海運など事業者と連携したイベントなどで関係人口の増加につなげる。

地域産品を活用した宴会、美食イベントを開催 地域ブランドを表現し新たな旅館ブランドを構築

コロナ禍でもホテル内に日本酒バーをオープンするなど、地域資源を活用したおもてなしを強化する同ホテル。地元の方、地元の酒造会社や生産者に喜んでもらうため、宴会のコース料理に山口県産のブランド牛を加えたり、ブランド牛とお酒と一緒に楽しめるディナーショーを実施したりと、地域産品を積極的に活用し新たな旅館ブランドを構築する。

■施設概要

住所／山口県長門市
油谷伊上10130
電話／0837-32-1234
<https://www.hotelyokikan.jp/>



事業内容

地域とのつながりを大切にしたコンテンツで集客、内容を充実



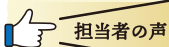
酒造メーカーや地元生産者と連携 美食イベントは情報公開後に完売

宴会場で提供するコース料理に、山口県産ブランド牛を使った料理を加え、内容を充実させた。美食イベントでは、萩市の岡崎酒造の岡崎孝浩氏と、福岡県からワインソムリエの黒木昭博氏を招き、料理に合うお酒の提案、お酒を楽しむための話を披露。地元食材を味わう料理を提供、お土産に地酒を用意した。

やまぐち和牛を使ったコース料理。法事、100人規模のパーティー利用があった。



美食の夕べは事前予約制とし、グループごとにテーブルを分けた。定員は通常の半分以下に。



担当者の声

長門市、さらに山口県の魅力を伝える宿を目指す

油谷湾温泉ホテル楊貴館 取締役 岡藤 明史さん

酒造会社さま、生産者の方々、ソムリエをお招きするなど外の方との交流も生まれ、これまでにない新たな視点を得て今後の展開を考えるきっかけとなりました。また、社員教育の一貫にもなりました。イベントは長門市では体験したことがない内容が注目を集め、地元の方が期待してくださっていたことが分かりました。宿泊施設として、県外から来てくださる方に地域産品を表現できる取り組みをこれからも進めます。

事業効果

- 美食の夕べ、8割が地元参加。
- 地元業者への波及効果。
- 地域とのつながりを大事にしていることをアピールできた。
- 高い料金設定でも集客できる。
- パーティー需要の復活を実感。

今後の展開

地元とのつながりと 地域資源を活かす

地元の酒造会社や生産者らとのつながりをもとに、地域資源を活かした取り組みを進める。食イベントで社内のモチベーションアップにつなげる。

eスポーツを普及するイベントを開催 ホテルの新たな活用法を提案しターゲットを拡大

中国地方では初めてのeスポーツ宿泊施設としてリニューアル。eスポーツは世代やハンディキャップを超えて取り組み、引きこもりの解消、デジタル人材の育成にもつながる。eスポーツの理解を深める講演会、体験会、エキシビジョンマッチを実施。同ホテルの新しい活用法を紹介した。報道機関に取り上げてもらい、大きな反響を得た。

■施設概要

住所／山口県柳井市
中央2丁目2-22
電話／0820-23-0030
<https://yg-hotel.co.jp/>



事業内容

eスポーツの可能性を体感、健康やいきがいに



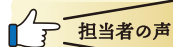
ルールや見どころ、観戦する楽しさ プロが分かりやすく紹介

第1回全国高校eスポーツ選手権大会プロデューサーの大浦豊弘氏が、eスポーツの教育的価値と地方創生の可能性について説明。安定した高速通信環境の中で、高校生によるエキシビジョンマッチを実施し、東京から招いたプロ実況解説者がルールや見どころを紹介。観戦する楽しさも知ってもらった。

ロビーでの感染症対策の様子。アルコール設置、検温実施、ジアイーノ稼働。



エキシビジョンマッチでは、地元高校のeスポーツ部と島根県の強豪校が対戦。



担当者の声

幅広い世代と接点持ち、山口の魅力を伝えたい

株式会社柳井グランドホテル 社長 松前 俊健さん

この度は、ホテル利用者を増やすことよりeスポーツの本質価値を理解していただくことに注力しました。結果的に多くの反響をいただきました。eスポーツを切り口にする事で、少子高齢化が進む人口30,000人の町で幅広い世代を対象にでき、さらに外国人観光客などへもターゲットを拡大できます。多くの方に当館を利用していただくことで、山口県の自然、食、文化を満喫していただく機会へとつなげていきたいと考えています。

事業効果

- 教育的価値を伝えられた。
- 同ホテルの安定した高速通信環境を知ってもらえた。
- ホールと個室を使い、密を回避してイベントを実施。
- 行政、教育、環境、医療関係者から反響を得た。

今後の展開

高齢者を元気に、
インバウンドで国際教育に

行政や医療機関と連携し、認知症予防や健康寿命の延伸、社会参加の促進を目指す。学生のeスポーツ部の合宿や大会の利用などに力を入れる。

写場も宴会場に加え選択肢を増やしニーズに応える 会席料理プランを30%割引、2名から利用可能に

規模は少人数から350席の大人数まで、形態も和室洋室と様々なタイプの宴会場を持つ同ホテル。写場も洋室の宴会場として開放し、会席料理を6月限定で30%割引に、これまで8名以上の利用だったものを2名から利用できるように変更した。地元新聞や初めて利用する情報誌への広告で広く周知し、利用促進を図る。また、地域の活気づくりに貢献する。

■施設概要

住所／山口県光市
虹ヶ浜3-9-16
電話／0833-71-0047
<http://www.matsubaraya.co.jp/>



事業内容

施設全体の稼働率アップに取り組み、利用者を増やす

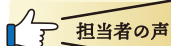


宴会利用の目標100名を早々に達成 会場の使い分けと広告の活用

6月限定で会席料理6,000円、8,000円、10,000円の3プランを30%割引とし、2名から利用できるようにした。目標人数を合計100名に設定。大小ある宴会場を使い分けて施設稼働率を高め、目標を早々に達成できた。募集は山口新聞、瀬戸内タイムス、日刊新周南などの地元新聞の他、初めて山口県東部地区のフリー情報誌「MOTTEKE」を活用した。



感染対策でアクリル板を設置(洋室宴会場)。2名から利用可能にして感染拡大を防いだ。広告で「やまぐち安心飲食店」であることを強調し、感染対策の取り組みをアピールした。



担当者の声

多様な企画で地域に愛され続けるホテルに

株式会社松原屋 代表取締役 **松原 眞喜雄**さん

当社は昨年に創業100周年を迎えました。コロナ禍で1年遅れましたが、地域の皆様への感謝の気持ちを込めて今回の取り組みを行いました。数日で限定100名の枠がいっぱいになり、お客様には安心安全な空間でくつろいで楽しんでいただけたことを嬉しく思います。今後も地域の皆さまに末永く愛され続けるホテルであるために、さまざまな企画で事業を継続させていきます。同時に、地域の活性化に貢献したいと考えています。



事業効果

- 初めて利用する情報誌の広告で情報到達エリアを拡大。
- 様々な宴会場を周知できた。
- 2名からという少人数宴会のニーズを確認できた。
- 施設全体の稼働率を上げ売上増。従業員の士気が上がった。

今後の展開

企業へのアピールを継続
気軽な少人数宴会にも対応
フリー情報誌を通じて、企業宴会だけでなく家族利用など気軽な少人数宴会ができる施設であることをアピール。さらに利用客を増やし、施設全体の稼働率アップを目指す。

「マジックショー」で子育て世帯にアプローチ 会場の認知を向上させ、地域と共生するホテルに

地域住民の宴会場利用も多い同ホテル。コロナ禍で地域との接点がなくなったことから、新たな客層の開拓と会場利用施設としての認知を高めるため、同館では初めての子育て世帯向けにマジックショーを実施した。施設や感染予防対策を体感してもらい、集会などでの利用促進を図る。参加者らに今後のイベントを案内し、継続利用につなげる。

■施設概要

住所／山口県美祢市
大嶺町東分270-1
電話／0837-53-1771
<https://www.mine-grandhotel.jp>



事業内容

子供向けイベントで“家族で利用しやすいホテル”をアピール



子供を無料招待、授乳室を準備 幼い子がいても安心して過ごせる

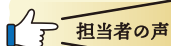
子育て世帯に楽しく過ごしてほしいとの思いで、マジックショーを1日3公演開催。子供(0歳から高校生まで)は無料招待、大人1,000円(ワッフルのお土産含む)とした。マジックを選んだのは演者人数をコンパクトに抑えられるため。椅子席で約100人収容できる空間で1公演15世帯(最大50名)、家族ごとに配席。授乳室も準備した。



全ての状況を家族単位で把握。感染者が出た場合も迅速に対応できる体制を整えた。



3つの宴会場を連結。抗ウイルス・抗菌効果が長期間持続する光触媒コーティングを導入。



担当者の声

人生のどこかで当ホテルを思い出して

美祢グランドホテル 支配人 三坂 恒雄さん

小さなお子さんのいるご家族を対象としたイベントは当ホテルでは初めて。ビジネス利用だけでなく、家族利用もできるホテルとして変化する第一歩といいます。このようなイベントを継続していくことが当ホテルの新たな役割であり、経営戦略だと感じました。宴会場は小さくも大きくも多様に使えますので、どこかのタイミングで当ホテルを思い出していただけると嬉しいです。地域の多様な方々と共生するホテルを目指します。

事業効果

- 子育て世帯に知ってもらえた。
- 和室もあり家族利用しやすいことを知ってもらえた。
- ターゲットを絞り、最小限の広告費で集客できた。
- 同ホテル内のカフェの認知を高めることができた。

今後の展開

宴会やイベント、カフェなど
地域住民による利用を拡大

未成年を対象にしたイベントを継続的に行い、宴会場やイベント会場としても利用できる認知を高めていく。年齢層の高い方向けも検討。

ハード面とソフト面のオペレーションで安心安全な環境を構築 ツアー客情報を事前に入手し座席間隔の確保と間仕切りを実施

さまざまな補助事業で昼食ツアーなどホール活用が少しずつ復活してきた同ホテル。感染予防のためのガイドラインを遵守し、感染予防ツールの活用といったハード面の強化とともに、お客さまに直接声をかけてマスク着用をお願いするなど、ソフト面のサービスで安心安全な環境を構築した。感染対策への取り組みを、業務の見直しや効率化に活かす。

■施設概要

住所／山口県長門市
深川湯本1234
電話／0837-25-3731
<https://www.gyokusenkaku.com/>



事業内容

お客さまの動きを想定し、安心して過ごせる環境を整備



来館直前に消毒用消耗品の在庫確認、 最終メンバーリストで配席を決定

お客さまの来館日に向けて、消毒用の消耗品の在庫確認した。最終のメンバーリストを事前に入手して配席を決め、グループごとに間仕切りを施し、ご夫婦でも対面の場合は卓上にアクリルパネルを置いて飛沫感染対策を徹底させた。感染予防対策を考えることは業務を見直す良い機会となり、効率化を図るきっかけにもなった。



CO₂センサーをはじめ、空気清浄器、除菌スプレーなどを活用。手指消毒用ボトルを、各宴会場の入口やホール、宴会中のトイレ利用を想定しトイレ内にも設置した。

👉 担当者の声 全てのお客様に気持ちよくご利用いただくために

株式会社伊乃正 玉仙閣 専務 伊藤 就一さん

6月は閑散期に近い時期ですがレジャーを楽しむ動きが戻りつつあり、ホールを活用するリーズナブルなツアープランでの利用が増えてきました。感染予防対策を全く気にしない方への注意喚起は難しいこともありますが、誠実に対応するしかありません。

おもてなしをする担当者間でそのお客さまの情報を共有し、宴会場での食事を個室にするなどオペレーションでトラブルを回避し、安心安全な環境とおもてなしを心がけていきます。

事業効果

- お客様の情報を事前に把握。
- 事前に席決めや間仕切りをし、感染予防対策をとった。
- お客さまが席を探す滞留時間や混雑を避けることができた。
- 座席情報を旅行会社と共有。体調変化にいち早く気づけた。

今後の展開

ガイドラインを遵守し 臨機応変におもてなし

これまで通りガイドラインを遵守したおもてなしを継続しながら、その時々々の状況に応じて対応。お客さまにも遵守をお願いする。